

## 平成 19 年度 コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事録

日 時：平成 19 年 5 月 14 日（月）14：00～17：00

場 所：土木学会 A・B 会議室

出席者：宮川委員長，池田，石橋，井上，入矢，上田，魚本，宇治，岡澤，金津（代理 松村），河野，黒田，坂井，島，下村，鈴木，武若（代理 山口），堤，手塚，富田（代理 小川），中村，二羽，橋本，松岡（代理 丸屋），丸山，睦好，渡辺の各委員，横田幹事長，岸・佐藤（靖）・信田・服部・濱田の各幹事，松沼担当（事務局）

配付資料：

- 1-0 : 平成 19 年度コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事次第
- 1-1 : コンクリート委員会 委員構成（平成 19 年度・平成 20 年度）
- 1-2 : 平成 18 年度コンクリート委員会 第 6 回常任委員会議事録（案）
- 1-3 : 平成 19 年度コンクリート委員会・常任委員会 会議開催予定
- 1-4-1 : 平成 18 年度コンクリート委員会 会計状況
- 1-4-2 : 平成 19 年度コンクリート委員会 予算案
- 1-5 : 「ステンレス鉄筋コンクリート設計施工研究小委員会」委員構成（案）
- 1-6 : 「橋本道路垂井高架橋の損傷に関する学術的調査研究」の委託申請について
- 1-7 : 平成 19 年度重点研究課題（研究助成金）の審査・選考結果について（回答）
- 1-8 : コンクリート教育研究小委員会 平成 19 年度活動計画（講習会の開催について）
- 1-9 : 215 示方書構想小委員会
- 1-10-1 : 平成 19 年度 3 種委員会 応募「腐食防食小委員会」
- 1-10-2 : 3 種委員会 設置提案書「コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会
- 1-11 : コンクリート標準示方書改訂小委員会 今後の予定
- 1-12-1 : 土木学会規準「プレキャストコンクリート用樹脂接着剤（橋げた用）品質規格（案）－ JSCE-H101-2007」の制定
- 1-12-2 : 同上 常任委員会からの意見および修正対応表
- 1-12-3 : 同上 コンクリート標準示方書【規準編】 土木学会規準 JSCE-H101-2007 新旧比較
- 1-12-4 : 同上 プレキャストコンクリート用樹脂接着剤（橋げた用）品質規格（案）（JSCE-H101-2007）
- 1-13 : 国際シンポジウム ConMat'09 開催への支援・協力要請に対する JCI からの返書
- 1-14 : 平成 19 年度土木学会全国大会研究討論会企画（案）
- 1-15-1 : コンクリート標準示方書改訂小委員会 委員構成
- 1-15-2 : 同上 ダム部会 委員構成（変更）
- 1-15-3 : 規準関連小委員会 委員構成
- 1-15-4 : H19～20 年度国際関連小委員会 委員構成（案）
- 1-16 : 委員会活動評価の活用方法および行事還元金の取扱い方法の変更について（通知）
- 1-17 : 2006 年度 目標／計画（アクションプラン）と実施状況・今後の課題
- 1-18 : 第 4 回（平成 19 年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について（通知）
- 1-19 : 出版紹介

- 1-20-1 : 331 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会 委員構成
- 1-20-2 : 336 コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会 名簿
- 1-21 : 講習会開催案内
- ①「複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料 (HPFRCC) の設計・施工指針 (案)」に関する講習会
  - ②【2007年制定】コンクリート標準示方書【規準編】発刊に伴う講習会  
ー樹脂系接着剤 (橋げた用) 品質規格の改訂および  
ISO 規格を視野に入れた国内土木系関連規準のあるべき姿ー
  - ③「鉄筋定着・継手指針 (案)」に関する講習会
- 1-22 : コンクリート委員会委員へのお願い

議 事 :

1. 委員長挨拶 :

宮川委員長より、コンクリート委員会は、コンクリートの研究・技術・普及に関する我が国の最も重要な責務を担ってきており、この責務を果たすため、今後ともコンクリート委員会としての活動に協力願いたい旨の挨拶が行われた。

2. 委員自己紹介【資料 1-1】:

出席委員全員から自己紹介が行われた。また、横田幹事長より、新たに國府勝郎、山本泰彦両氏に顧問を委嘱したとの報告が行われた。

3. 前回議事録の確認【資料 1-2】:

服部幹事より平成 18 年度第 6 回常任委員会議事録 (案) が読み上げられ、異議なく、議事録 (案) を承認した。

4. 審議事項 :

(1) 平成 19 年度常任委員会 会議開催予定について【資料 1-3】:

横田幹事長より平成 19 年度の常任委員会開催日時に関する案の説明が行われ、これを承認した。また、第 3 回常任委員会開催 (9 月 11 日予定) の前に、3 種委員会連絡会議を開催する予定であるとの報告が行われた。

(2) 平成 18 年度会計状況および平成 19 年度予算案について【資料 1-4-1 および 1-4-2】:

横田幹事長より平成 18 年度コンクリート委員会決算 (予算執行実績) 及び平成 19 年度予算案の説明が行われ、特に異議なく、これらを承認した。なお、特別会計は突発的な事態に対応するための予算として残し、一般会計への組入れに当たっては慎重であるべきとの意見があった。

(3) 「ステンレス鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 (案) 作成」の受託について

【資料 1-5】:

宮川委員長より、「ステンレス鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 (案) 作成」の受託について、前回委員会で受託が了承されたことを踏まえ委員構成案を作成したとの説明が行われ、特に

異議なく、委員構成案を承認した。ただし、各委員には未打診であり、変更があれば再付議することとした。

(4) 「橋本道路垂井高架橋の損傷に関する学術的調査研究」の受託について【資料 1-6】：

宮川委員長より、「橋本道路垂井高架橋の損傷に関する学術的調査研究」の受託について、これまでの活動経緯とともに、残された課題があることから申請を受諾したいこと、これまでの活動を継承する観点に基づいた委員構成としたい旨の説明が行われ、異議なく、受託及び委員構成を承認した。なお、活動は7月末までの予定とするが、必要に応じ、延長を可とすることとした。

(5) 平成19年度重点研究課題の審査結果について【資料 1-7】：

平成19年度重点研究課題の審査結果について、宮川委員長よりコンクリート委員会からの申請「コンクリート構造物のインフラマネジメントに関する研究」が採択されたこと（全体で応募11件、採択5件）、ならびに河野委員より今後の研究委員会設置が説明された。委員会の設置ならびに委員構成として若手を含めた幅広い構成とすることが承認され、自薦、他薦を問わず希望・意見があれば河野委員に伝えることとした。

(6) コンクリート教育研究小委員会（201）の講習会企画について【資料 1-8】：

宇治委員よりコンクリート教育研究小委員会の若手・中堅技術者を対象とした講習会企画案について説明があり、特に異議なく、企画案を承認した。審議における主な質疑は以下のとおり。

- ・吉田賞委員会への協力については、今後、具体的な検討を行う。
- ・講習会開催結果を主たる内容に委員会報告を作成する予定である。
- ・当面、設計・施工を対象とするが、今後、新たな希望があれば、計画・維持管理なども講習内容とすることを検討する。
- ・今回は年内に終了予定であることから、資料としては標準示方書2002年版を使用予定。改訂作業の進捗も考慮の上、必要に応じて改訂案の紹介も考えたい。
- ・設計での要求性能に対する講習内容として「使用性」と「耐久性」に限ったのは設計実務者にとっての実用的な興味を考慮したことによる。
- ・受講対象者は設計実務者か施工管理者か。
  - 限定していない。設計・施工両方参加してもらうことに意味があると考えている。
- ・学会誌9月号会告での周知を予定しているが、会告掲載時期を早める必要性について検討する。

(7) 示方書構想小委員会の設置について【資料 1-9】：

示方書構想小委員会の設置について、宮川委員長より、常任委員会は議論の場としては大きすぎるとの懸念があること、継続的な議論が出来る場を持ちたいことなどを骨子とする説明が行われ、特に異議なく、委員会設置と委員構成案が承認された。審議における主な質疑結果は以下のとおり。

- ・208示方書連絡調整小委員会とはあえて協調しない。
- ・人数を少なくし、各委員の顔が見える議論・意見交換の場とする。
- ・開催は常任委員会終了後に行うことを基本とする。
- ・活動期間は2年間とし、第1回目の委員会を次回あるいは次々回常任委員会後に予定することとしたい。

(8) 第3種委員会の設置について【資料 1-10-1 および 1-10-2】:

丸屋氏より「腐食防食小委員会」設置の目的および小委員長・幹事候補について説明が行われ、異議なく、承認された。ただし、委員会名称が大きすぎるため再検討が必要であるとの指摘があり、後日確認することとした。

また、横田幹事長より、「コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会」設置の目的および委員長・幹事候補について説明が行われ、小委員会の設置、委員長・幹事長人選ならびに委員の公募を承認した。

(9) コンクリート標準示方書改訂の進め方について【資料 1-11】

魚本委員より、本年末での刊行を目標としたコンクリート標準示方書改訂作業の今後の予定について説明が行われ、宮川委員長より、研究の最先端ではなく、技術の最先端を考慮して欲しい旨の意見があった。常任委員に対する意見照会を行うこと（締め切り；6/30）、詳細審議（改訂案読み合わせ）の実施ならびに今後の活動予定が承認された。意見照会・詳細審議の詳細はあらためて改訂小委員会信田幹事より各委員宛に連絡することとした。

(10) 「プレキャストコンクリート用樹脂接着剤（橋げた用）品質規格（案）」改訂に対する意見照会への対応について【資料 1-12-1～1-12-4】:

橋本委員より「プレキャストコンクリート用樹脂接着剤（橋げた用）品質規格（案）」改訂に対する意見照会結果とその対応についての説明が行われた。粘度の単位表記に関する修正（mPa から MPa）の正誤を確認することを前提に、前記品質規格の制定を承認した。

(11) ConMat '09 実行小委員会の活動について【資料 1-13】:

魚本委員より、ConMat '09 開催に対する協力要請についての JCI からの回答ならびに今後の対応に関する説明が行われた。今後、当該シンポジウムを JCI との共催とすること、土木学会及び JCI の会員から構成する実行委員会を設置すること、実行委員会設置について早急に JCI と調整を行うこと、実行委員会が本格活動にいたるまで、土木学会の実行小委員会の活動を継続すること、等の方針が承認された。その他、主たる質疑は以下のとおり。

- ・2009年8月開催、費用および交通の利便性を考慮し、名古屋開催を基本とする。
- ・前回の Vancouver 大会（ConMat '05）から CSCE とは直接的な関係は薄れており、JCI との共催について CSCE の了解は不要と考えている。
- ・今後の JCI との調整結果に応じ、小委員会の名称変更、存廃を検討する。

(12) 全国大会研究討論会のテーマについて【資料 1-14】:

横田幹事長より、全国大会研究討論会におけるコンクリート委員会提案の企画について、主題を「コンクリートと環境」とすること、座長を堺委員とすること、話題提供者として産学官より4名を選定したこと等、企画案の説明が行われ、原案どおり企画案を承認した。なお、実施日時は現段階の希望日時であり、最終決定ではないとの説明があった。

(13) 第1種・第2種小委員会の委員の追加・変更【資料 1-15-1～1-15-4】:

宮川委員長の資料説明の後、コンクリート標準示方書改訂小委員会、同ダム部会、規準関連小委員会における委員交代ならびに平成 19～20 年度の国際関連小委員会の委員構成（委員長：堺 孝司 常任委員，幹事：中村 光 常任委員，他委員 7 名）を承認した。

## 5. 報告事項：

### (1) 委員会活動度評価の活用方法および行事還元金の取扱いについて【資料 1-16】

横田幹事長より調査研究部門 阪田主査理事名による「委員会活動度評価の活用方法および行事還元金の取扱いに関する通知」について報告が行われた。主な質疑結果は以下のとおり。

- ・部門の行事全体決算において残金（残金＝収入－行事費用－管理費。管理費は収入の 20%）が生じた場合、その 60%相当額が当該部門に調査研究拡充支援金として還元される。ただし、赤字の場合は翌年度予算が減となる可能性もある。
- ・還元金が生じた場合、コンクリート委員会としては、当面、内部に留保する扱いとする。

### (2) 平成 18 年度目標/計画（アクションプラン）の実施状況・今後の課題【資料 1-17】：

横田幹事長より平成 18 年度土木学会アクションプランに対するコンクリート委員会としての実施状況・今後の課題に関する報告が行われた。

### (3) 鉄筋定着・継手指針（案）の経過報告：

鈴木委員より鉄筋定着・継手指針（案）について、意見照会に対する常任委員からの新たな意見はなかったことを踏まえ、現在、指針の印刷を進めているとの報告が行われた。今後、8 月 23 日に砂防会館（東京）で、引き続き、東北、北海道、関西、中部支部で講習会を開催する予定となっている。

### (4) 平成 19 年度日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について【資料 1-18】：

横田幹事長より平成 19 年度日本学術振興会賞受賞候補者について該当候補があれば申請して欲しい旨の報告が行われた。

### (5) 出版紹介【資料 1-19】：

服部幹事より、以下の出版物が発刊された旨、報告が行われた。

- ・コンクリートライブラリー126；施工性能に基づくコンクリートの配合設計・施工指針（案）
- ・コンクリートライブラリー127；複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料設計・施工指針（案）
- ・コンクリート技術シリーズ 74；混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会報告書ならびにシンポジウム講演概要集
- ・コンクリート技術シリーズ 75；設計認証・保証システム研究小委員会報告書 コンクリート標準示方書と構造物の照査・検査システム
- ・コンクリート技術シリーズ 76；コンクリート構造物のヘルスマonitoring技術
- ・JSCE Guidelines for Concrete；Example of Design Calculations Based on JSCE Standard Specification for Concrete Structures – Reinforced Concrete Superstructure of Open-Type Wharf -

(6) 材料研究連合会テーマ募集:

服部幹事より、例年どおり材料研究連合会テーマ募集があったことを踏まえ、意見、テーマ候補があれば服部幹事まで連絡して欲しい旨、報告が行われた。

(7) 第3種小委員会委員の追加・交代【資料 1-20-1 および 1-20-2】:

服部幹事より、「331 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会」および「336 コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会」における委員構成の変更について報告が行われた。

(8) 講習会・シンポジウム等開催案内【資料 1-21】:

服部幹事より以下に示す講習会・シンポジウムの開催案内が紹介された。

- ・複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料 (HPFRCC) 設計・施工指針 (案) に関する講習会 ; 5/16 (札幌), 5/18 (岐阜)
- ・土木学会【2007年制定】コンクリート標準示方書「規準編」発刊に伴う講習会—樹脂系接着剤 (橋げた用) 品質規格の改訂および ISO 規格を視野に入れた国内土木関連規準のあるべき姿— ; 5/29 (土木学会)
- ・鉄筋定着・継手指針 (案) に関する講習会 ; 8/3 (土木学会)。

(9) その他【資料 1-22】:

横田幹事長より、常任委員会において審議すべき議題がある場合には、審議資料を直近の幹事会に提出願いたい旨の要請が行われた。幹事会日程については常任委員会にて都度、周知予定。

6. 次回幹事会及び常任委員会:

- ・次回幹事会 (議題案件資料の提出) : 2007年7月3日 (火) 15:00~17:00 土木学会
- ・次回常任委員会 : 2007年7月10日 (火) 14:00~17:00 仙台

以 上